



ハットクラブだより



2020年1月
第49号

- ① 行事实施報告 ② その他の行事参加 ③ 会員の広場
④ わたしのにっぽん ⑤ NZ通信 ⑥ クラブからのお知らせ

① 行事实施報告

多民族フェスティバル



毎年、天候に恵まれる多民族フェスティバルですが、第6回目となる今回は、これまでにない秋晴れの下、11月9日、小野原公園で開催されました。ハットクラブは、例年通り「NZワイン・バー」を出店いたしました。多数の外国人居住者も含め約3000人を超える来場者で、たいへんな賑わいでした。お蔭様で、NZワインの販売も、好調で、たくさんの方々に、赤・白のNZワインを楽しんでいただきました。NZからのCIRであるベラさん、ゼアさんも朝からお手伝いいただき、販売に協力いただくと同時に、ハットクラブのメンバーや来客たちとの交流を深めることが出来ました。

また、タッキー816みのおエフエムの番組に、スカイプ中継で、ハット市のレオさんが出演し、場内に放送されました。今回は、音声だけでしたが、フェスティバル風景を映像で、ハット市に紹介することも検討してどうかと考えているところです。

ワイン試飲会



友好都市ハット市に思いを馳せて食の文化の片鱗にふれることのできる恒例となったNZワイン試飲会は今回で15回を数えます。おなじみのソムリエさんによるよりすぐりのワイン4種。初めはさっぱりとした白ワイン、シャルドネ種の試飲と手作りのおつまみで会場は和みます。今年は例年の2つの赤ワインに替えて3種の共演です。切れのよいエレガントな香りのピノ・ノワール、続いてしっかりボディのシラー、そして微妙な変化を醸して飲みごたえのあるカベルネ・ソービニヨン。折しも今、ラグビーワールドカップの予選リーグは真っ盛り、ワインを囲む皆さんの会話も弾みます。

先週の日曜日10月6日、秋晴れに恵まれた昼下がりのひとときを、会員と市民の皆さま40名の皆さまがその味と香りに酔いしれました。今回はタッキー816みのおエフエムの取材もいただき、来る放送日が楽しみです。(HP掲載と同文)



キウイパーティー

12月8日(日)18時から音羽山荘で年末恒例のキウイパーティーを開きました。参加者は外国人6名を含む38名、外国人参加者は英会話サロンの講師の方々と市役所で国際交流員(CIR)として活躍中の外国人女性3名でした。

パーティーは箕面市ハット市友好議員連盟の神代会長による乾杯の音頭で始まり、大阪大学交響楽団の弦楽四重奏、マオリ語の歓迎の歌、参加者から歌の飛び入り、英語による即興スピーチ、メキシコから来日した女性国際交流員はスペイン語の歌を披露等々で盛り上がり、あっという間の二時間でした。翌日英会話サロンの講師からお礼のメールが届きましたが、「今年のパーティーは特に楽しかった!」との言葉を頂きました。

今回はCIRの外国人女性3名が和服で登場です。パーティーの雰囲気はぱっと華やいで「和服はいいな〜」と改めて思った次第です。着付けは運営委員のメンバーと友人の二人で1時間掛かりの作業になりましたが、外国人の和服姿に音羽山荘に来ていた一般のお客さんからも大喝采で嬉しそうな三人でした。もう一つたまたまでしたが、CIRの一人の婚約者が箕面に来ていたので参加して貰いました。和服姿の彼女と嬉しそうに座っている姿が微笑ましく、いい思い出になって貰えればと思います。

話は変わりますが、ここ数年で国際交流員(CIR)や外国語指導助手(ALT)としてニュージーランドから箕面市にやって来の人が大幅に増えました。箕面市の国際交流員は現在3名ですが、その内2名はニュージーランド人です。また小中学校で英語の指導に当たっている外国語指導助手は現在70名前後と聞いていますが、その内22名はニュージーランド人です。個人的な思いになりますが、これだけ多くのニュージーランド人が箕面市の国際交流と英語教育の為に活躍中です。ハット市との交流を柱にしながらも、ニュージーランドの色んな所からやって来た人達との交流にも輪が広がればと思う次第です。



ALT、CIR歓迎会



今年度新たに来日したALT(外国語指導助手)とCIR(国際交流員)の歓迎会を10月18日(金)「らいとびあ21」で開催しました。平日の為に都合が付きなかったALTもおられました。ニュージーランドの新ALT2名と新CIR1名、さらにメキシコの新CIRにも参加頂きました。このメンバーに加えてすでに活躍中のALTとCIRや英会話サロンの講師にも参加頂いて、外国人8人と日本人24人の総勢32名の歓迎会になりました。

ニュージーランド人、メキシコ人、新旧のALTとCIR、英会話サロン講師、さらに日本側参加者には中学生6人がおられました。年齢も国籍もバラエティーに富んだメンバーで、パーティー半ばではALTのウクレレによるマオリソングの合唱やメキシコ人CIRとスペイン語の歌で盛り上がり、いつもとは一味違った楽しい歓迎会になりました。

片隅では英会話サロンの講師を囲んで中学生6人が楽しそうに会話している姿が大変微笑ましく映りました。



② その他行事参加

萱野小学校 英語クラブ活動にボランティア参加



昨年夏、交換教員としてハット市を訪問された萱野小学校の向井先生と、同校に勤務するNZよりのALTウェイバリー・タンさんが指導されている英語クラブの活動のお手伝いに参加しました。4～5年生8人のクラブで、この3学期で4回の活動があり、初回の昨年10月30日は、各自自己紹介をして、この活動における各自の目標を発表しました。あと、我々が準備した英単語のゲームやジェスチャー・ゲームを、皆で、楽しみました。12月には、クリスマスのサンタさん作りや、皆で、ジングルベルを英語で合唱しました。

NZよりのALTと共同で、このような課外活動へのお手伝いを通じて、子供たちの英語力向上に役立つことは、ハットクラブの活動としても、意義あるものだと考えています。

ハット市Japan Dayスカイプ中継

11月17日、ハット市で開催された“Japan Day”が、スカイプを通じて中継されました。リンダさんが、レポーターとして、会場内を案内して回り、剣道の試合、茶道、折り紙、和太鼓演奏のパフォーマンスや、タイ焼き、綿菓子の屋台などを紹介してくれ、我々は、国際交流会館の会議室で、その実況中継を観ることが出来ました。日本大使、ウエリントン在住の日本人も多数参加されており、ワレス前市長や、多くのハット市の友人とも再会し話すことも出来たよい機会でありました。



トイグレン小学校来賓



9月30日、ハット市のトイグレン・スクールから生徒8人と付き添いの先生、父兄4人の計12人が、来賓面し、地元市民の家庭にホームステイしました。生徒たちとの対面式が、到着の当日市役所で行われました。

8人はそれぞれひとりづつ、8軒の家族に暖かく迎え入れられ、地元の学校訪問や、大阪の海遊館、大阪城、USJなどの観光を楽しみました。10月9日、国際交流会館で、フェアウェルパーティが開かれ、翌日、帰国しました。

NZ柔道チーム来賓

本年開催のオリンピックに向けて、箕面市はニュージーランド柔道チームのホストタウンになっています。昨年9月末から10月の初めにかけて、コーチ、選手ら計14名が箕面にやってこられました。滞在中の2週間、練習試合、各種イベント、地元市民との交流など充実した日程をこなし、さいわい怪我もなく先日無事に帰国されました。その間、武道館で行われた市民との交流イベントでは大勢の子供たちも参加し、大変なにぎわいでした。

ハットクラブからは、川島さんが、ホストタウン推進実行委員会の副会長として、歓迎会や諸行事に参加されました。今後は同チームが地区予選を勝ち抜き、オリンピックにはそのうちの何名かが来日し、ふたたびこの箕面の地を踏んでくれることを祈るばかりです。





③ 会員のひろば

箕面ハットクラブとの出会い

東 三貴子

私がハットクラブに出会ったのは、第1回の英会話サロンに参加させていただいた時です。その時は、長年、箕面に住んでいるにも拘らず、ハット市と箕面市が姉妹都市であることも、もちろん、ハットクラブも知らず、ただ気軽に英会話が学べるかなあ？との軽い気持ちでした。初めての英会話の楽しかったこと！各テーブルにハット市からALT（当時は、違う名称でした）がついて下さりフリートキング。外国の方と日本人との考え方の違いや、逆に、おなじ考え方など、新しい発見がいっぱいでした。日本の子供の教育について議論したこともあり、長くお付き合いをさせていただいているお友達も出来ました。この楽しさの発見や人とのつながりで、今まで、サロンが続いて来たのだと思いますし、私自身も、続いて参加したいという気持ちをもてました。

その後、ワイン試飲会にも携わり、こちらでは、おつまみなどを作らせていただいております。最初は、英会話サロンの後に、試飲会をすると程度の小規模な会でしたが、その後、別の日を設けたことで、少し本格的な会になり、手製のおつまみなども用意するようになりました。ソムリエの栗本さんに来ていただくようになってからは、栗本さんの指導で、あまり味の濃いものは避け、ワインの味を損なわないものをと気を付けています。➡



➡他にも、ハットクラブは、季節ごとに色々なイベントを催していて、参加させていただいていますが、この10年間の関わりで、ニュージーランドが大好きになりました。

必ずいつかニュージーランドに行きたい！ただその前に、この10年ほとんど上達していない英語力をなんとかしなければ・・・ですが（笑）

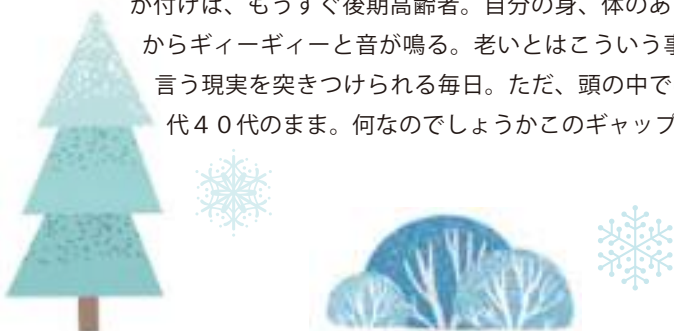


英語と私

浦 美智子

先日、フランス在住50年になる中学の同級生から、突然、何十年ぶりかで電話があり、フランスから日本への固定電話同志の通話は無料なのよ、と言うので、これ幸いに長電話を楽しみました。2人の娘さんと5人のお孫さんに恵まれ、今は御主人と2人暮らし。御主人はパーキンソン病を患い、自身も重度の突発性難聴で飛行機には乗れず、もう日本には帰れない。この度、フランスにお墓を買い、残される娘さんたちが面倒な手続きをしなくても良い様に、本当のフランス人になる手続きをする事にしたのよ、との事。あーあ、彼女もやはり、この先どうする？という悩める年令になって来ているんだ、と思い知らされました。彼女は偉いなあ。

ポオーツと生きてるんじゃない。とチョコちゃんに叱られそうですが、あつと言う間にここまで来てしまった、というのが正直な所です。気が付けば、もうすぐ後期高齢者。自分の身、体のあちこちからギーギーと音が鳴る。老いとはこういう事、と言う現実を突きつけられる毎日。ただ、頭の中では30代40代のまま。何なのでしょうこのギャップ。➡



➡もともと、英語が大嫌いで、さっぱり出来なかった私は、子どもたちも巣立ったある日、英語を嫌いなままで終わりにたくない、と、とんでもない事を考え付き、今は無き梅花学園生涯学習センターにでも行けば、何とかなるだろうと、英語をやり直すことにしたのです。そこで今にも至る大切なお友達と会い、ひとえに彼女達が居てくれたお陰で、アーのウーも言えなかった私が、ずうっと英語を続けることが出来ました。ハットクラブ英語サロンがあるらしい。行ってみよう。そのお友達に誘われ、このサロンに参加させていただくようになってからも随分たちます。いろいろな方との出会いもありました。会社の仕事で英語を使っておられ、維持したい、上達したいとか、皆さん共通して、いろいろな機会を利用して、英語に取り組んでいらっしゃるいました。英会話サロンの中だけでなく、キウィパーティ、歓迎会、他の行事等で、その方々の人柄が解って来るにつれ、英語だけでなく、生き方そのものを勉強させていただくことが多いです。中途半端でも良い。まだまだ興味のある内は、少しづつでも思っています。



“ばあちゃんの英語、初めて聞いたよね。最後に、bye って言ったよね。”なんて事になるかもしれませんが、中途半端でも良い、楽しく続けて行こうと思っています。

今、私は英語は嫌いではありません。出合った方々に感謝です。お陰様で。



④ わたしのにっぽん

My Japan Marsh Barrett

I have been in Japan for a little over a year, and have learned many things since leaving home. Before I came to Japan I prepared myself for all of the cultural differences I would have to face, but the most delightful and surprising thing I keep discovering about Japan is how similar we all are.

Beyond eating different foods, having different tastes, and (of course) speaking different languages etc. I have found beyond all of these cultural differences is just people living their lives. People capable of happiness, sadness, fear, anger, and - most importantly - kindness. Discovering this after reading about Japan in books, seeing it on TV or in movies for all these years has been such a wonderful surprise.

I have been gone for quite some time, and I miss New Zealand every day. But meeting people in Japan - like the members of the Hutt Minoh Club - remind me that although culturally we are all different, kindness is a value that we all share no matter where we are in the world. Knowing this after being so far away from home, makes me feel as if I never left.

I hope I can stay here longer and learn more about Japan!

マーシュさんは、2018年度のNZからのALTで英会話サロンに講師として出てくださいました。



⑤ NZ通信

The Year in Lower Hutt Leo Austin

レオさんは、毎月のスカイプ交流のポスターの作成や、色々な行事のお世話をされています。



In August this year two teachers from Minoh, Anna Mukai and Hiroko Yabe, visited Lower Hutt as part of the teacher exchange programme. They both enjoyed the time spent in Lower Hutt schools and the opportunities to interact with students, teach them Japanese language and origami, and talk to them about Minoh City and Japanese culture.

In November, Hutt Japan Day 2019 was held. This successful event was organised by the Hutt Minoh House Friendship Trust and attracted a crowd of between 4,000 and 5,000 people. We were very fortunate this year to have the presence of twelve performers from the Japan Research Institute for the Traditional Art of Japan. Their visit was kindly arranged by the Japanese Ambassador to New Zealand, His Excellency Hiroyasu Kobayashi. The visitors demonstrated calligraphy, tea ceremony, koto, and traditional dance before very appreciative audiences. In addition to our distinguished visitors, local enthusiasts also demonstrated Taiko drumming, children and adult's Koto dance, Kendo, laido, aikido, tea ceremony, Japanese hairdressing and kimono modelling.

In October, local body elections were held in New Zealand, and Ray Wallace, who had been Mayor of Lower Hutt for the last nine years, was replaced by Campbell Barry, who became New Zealand's youngest mayor. Following the elections, the Japanese Ambassador to New Zealand paid a courtesy visit to the new Mayor and expressed his wish for Lower Hutt's relationship with Japan to continue to grow.

In closing, we in Lower Hutt greatly appreciate the work the Hutt Club does to promote Kiwi culture in Minoh and enjoy our monthly Skype chats with them.





⑤ NZ通信

How I came to live in Minoh (Part2) Michelle Gibson

ミッシェルさんは、ALTで2018年8月から1年間、止々呂美小学校で勤務されていた方です。

Well, it is nearly one year since I wrote my first article. At that time I was still living in Minoh, working as an ALT at Todoromi School. I lived in Minoh from August 2018-August 2019. I have been back in New Zealand for 4 months and love being back with my family and friends, but I am still missing my Japanese lifestyle, my students, and all of my many Japanese friends. I was very sad to leave Minoh and Japan, as it had become my second home.



Since being back, I have been involved with some Japanese events. In November I worked at the Hutt Japan Day. It was a very successful event, celebrating our sister city relationship with Minoh.

I have recently joined the board of the Hutt Minoh House Friendship Trust. I have also participated in some events for returned JETs. Julia and I celebrated Hanami under the blossom trees in Wellington. I also entered a Japanese photo competition and won first prize for a photo of me with a snow monkey! I have only participated in one skype session with Minoh as I have been travelling around the country during the weekends, to visit my extended family and friends. I have a wonderful job working with some beautiful babies and young children.

A few of my ALT friends in Minoh are coming to New Zealand for the Christmas holidays (4NZ JETs and 2 American JETs), so I am very excited about seeing them.

Here are a few highlights of my time in Japan.

I visited Hiroshima, Mt.Fuji, Nagano, Jigokudani Snow Monkey Park, Okinawa, Nabari (Mie), Goza Beach in Ise-Shima, Kyoto, Nara, Kobe, Koyasan, and spent many weekends exploring Osaka. I enjoyed being part of the Minoh community, helping out at festivals, Eikaiwa classes, and giving presentations about New Zealand. I was so happy to have my husband and sons visit in February and my sister in March.



A favourite thing in Minoh, was walking up to the beautiful waterfall and hanging out with my monkey friends. I also loved to go to the Onsen, but my very favourite thing was spending time with my friends.



I wish to thank you all at the Hutt Club for making me so welcome and including me in your lives. Thank you for the wonderful farewell party and presents. I am planning to come back within the next 2 years and visit you all. I also want to climb Mt.Fuji as last time I visited it was in December, so I will have to come back in summer!

I wish you all a Happy New Year for 2020 and hope to see you on skype next year.

With love and gratitude from Michelle Gibson: Lower Hutt: December 2019



⑥ クラブからのお知らせ

今後の行事予定

奮ってご参加下さい!

1. 第2回 NZをもっと知ろう会

後援：(公財) 箕面市国際交流協会

- 2月23日(日) 午後2時~4時
- 中央生涯学習センター3階講座室
- スピーカー：NZ学会事務局長 塩田晴康さん他
- 講演テーマ：「NZの興味深いこと」
「ワーキングホリデー事情」

参加無料

2. 姉妹都市フォーラム

共催：メキシコ友の会

- 3月1日(日) 午後2~4時
- 箕面市多文化交流センター
- 「姉妹都市と国際協力」についての基調講演とパネルディスカッション。
- 詳細は、追ってお知らせします。

参加無料

3. 毎年恒例のお花見会

開花状況によりますが、3月末~4月初、万博公園で開催。桜だよりを見て詳細を、HP・案内メールでご案内いたします。

4. 2020年度総会

6月上旬の日曜日に開催。

月例行事

英会話サロン

- 毎月第3日曜日(8、12月除く) 14:00~16:00
- 東生涯学習センター

スカイプ交流

- 毎月第2土曜日(8月除く) 12:00~13:00
- 国際交流協会

場所、時間等の変更がある場合は、HP、毎月の案内メールでお知らせします。

新しいイベントのアイデア募集

「NZらしさのある企画」との観点から、「NZをもっと知ろう会」をスタートし、1.でご案内の通り第2回を開催予定です。「地元貢献の企画」との観点から、記事掲載の通り、小学校の英語クラブの活動にボランティア参加。ハットクラブの特徴を生かした新しいイベントを、一緒に考えて、運営してみませんか?

皆さんの参画大歓迎!

ハットクラブだより第49号編集

- 発行日 2020年1月
https://minoh-hutt.comに掲載
- 編集 片芝賢二、加藤俊明
- 問い合わせ先 ハットクラブ
E-Mail : info@minoh-hutt.com